

事務事業名	真岡市パソコンICT教育研究会運営交付金				担当	教育委員会 学校教育課 総務係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名			
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成9年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市補助金等交付規則							
予算科目	1.一般会計	10.教育費	1教育総務費	2事務局費				
事業概要	情報教育の推進のため、パソコン等の機器の整備、カリキュラム作成等についての研修会を年間4回程度開催しており、同会に対して運営支援を行っている。交付金額133,200円。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 研究会から交付申請書（事業計画書）を提出させ、運営支援のための交付金を交付する。 2年度計画 昨年度と同様		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア 交付金額	千円	133	133	133	133	133
		イ 研修会数	回	4	4	3	5	5
		ウ						
		エ						
		オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ICT教育研究会		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア パソコン教育研究会の会員教師の数	人	27	27	23	23	23
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） コンピュータを活かした授業を行うためのパソコン等の機器及びソフトの研究及び技術の向上を図る。		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア パソコン等の機器及びソフトの研究及び技術の向上が図られた学校数	人	27	27	23	23	23
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 情報教育の推進を図る		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア 情報教育の推進が図られた学校の割合	%	100	100	100	100	100
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	133	133	133	133		
	事業費計(A)	千円	133	133	133	133		
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	1	1	1	1	
		人件費計(B)	千円	4	4	4	4	
トータルコスト(A)+(B)		千円	137	137	137	137		

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	学習指導要領において、情報化に対応し、各教科の指導においてパソコンの活用が求められたから。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成14年度より実施された学習指導要領による教育課程では、コンピュータや情報通信ネットワークを活用すること、中学校技術・家庭科において「情報とコンピュータ」を必修とした。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	